tapestry

本資料は、タペストリー・インクが2026年5月7日（木）午前7時（日本時間：同日午後8時）に発表したプレスリリースの日本語翻訳版です。

＜報道関係者各位＞

タペストリー・インク
2026 年度第 3 四半期の業績を発表
通期業績見通しを上方修正

収益、営業利益及び EPS で予想を上回る 2 桁成長を達成

- **前年同期比 21%増（恒常通貨ベースで 19%増）となる 19 億ドルの収益**
- **コーチの 31%増（恒常通貨ベースで 29%増）が牽引し、プロフォーマ収益の 25%成長（恒常通貨ベースで 23%成長）を達成**
- **売上総利益率の上昇及び販管費のレバレッジが寄与し、営業利益率が GAAP ベースで 630 ベーシスポイント、非 GAAP ベースで 490 ベーシスポイントそれぞれ拡大**
- **GAAP ベースの希薄化後 EPS が前年同期比 74%増の 1.65 ドル、非 GAAP ベースでは前年同期比 62%増の 1.66 ドル**
- **好調なバランスシートと堅調なキャッシュフローの創出により前回ガイダンスを上回る 2026 年度中の 16 億ドル株主還元に向けて順調に推移**
- **収益、営業利益率、EPS、キャッシュフローの 2026 年度見通しを上方修正**

こちらのリンクから各ブランドの解説を含む 2026 年度第 3 四半期の業績説明資料（英語のみ）がダウンロードできます。

ニューヨーク 2026 年 5 月 7 日 － ニューヨークに本拠地を置き、アイコニックなアクセサリー＆ライフスタイル ブランドを展開するグローバル企業 タペストリー・インク（NYSE：TPR）は、本日、2026 年 3 月 28 日に終了した 2026 年度第 3 四半期の業績を報告しました。

タペストリー・インク最高経営責任者 ジョアン・クレヴォイセラのコメント

「第3四半期の好業績は、世界中のより多くのお客様にクリエイティビティー、クラフトマンシップ、価値をもたらす当社のAmplify戦略による複合的なメリットが寄与したものです。規律ある戦略遂行と徹底した顧客中心主義により、あらゆる知見を大規模な行動へと昇華させ、有意義な成長を促進し、利益率を拡大し、ブランドへの尽きることのない憧れを醸成しています。この優位な位置づけを活かして、大きな可能性に満ちた未来へと確かな歩みを進めています。2026年度通期業績見通しを引き上げるとともに、私たちはタペストリー・インクの持つ力、盤石な成長と長期的な株主価値の創出に向けた当社の揺るぎない決意を示しています」

タペストリー・インク2026年度第3四半期業績に関するハイライト（未監査）- 単位は百万ドル（ただし1株当たりの数値を除く）

	下記期日に終了の四半期			
	2026年3月28日	2025年3月29日	増減率	恒常通貨ベースの増減率
売上高	1,920.6	1,584.6	21%	19%
プロフォーマ財務情報の売上高[1]	1,920.6	1,538.4	25%	23%
売上総利益	1,476.5	1,205.8	22%	
売上総利益率	76.9%	76.1%	80 bps	
非GAAPベースの売上総利益[2]	1,476.5	1,205.8	22%	
非GAAPベースの売上総利益率[2]	76.9%	76.1%	80 bps	
営業利益	427.5	253.7	69%	
営業利益率	22.3%	16.0%	630 bps	
非GAAPベースの営業利益[2]	430.1	277.3	55%	
非GAAPベースの営業利益率[2]	22.4%	17.5%	490 bps	
希薄化後1株当たり利益	1.65	0.95	74%	
非GAAPベースの希薄化後1株当たり利益[2]	1.66	1.03	62%	

[1] プロフォーマ財務情報の売上高及び関連する増減率には、上掲の両期間におけるスチュアート・ワイツマン事業の報告書ベース及び恒常通貨ベースの売上高は含まれません。財務諸表2をご覧ください。
[2] GAAPから非GAAPへの調整については財務諸表3をご覧ください。

プロフォーマ収益情報の概要（未監査）- 単位は百万ドル

	2026年3月28日に終了の四半期	増減率	
		報告書ベース	恒常通貨ベース
ブランド			
コーチ	1,701.0	31 %	29 %
ケイト・スペード	219.6	(10)%	(11)%
地域[1]			
北米	1,101.7	20 %	20 %
中国全体[2]	432.2	61 %	55 %
日本	123.9	(10)%	(10)%
その他アジア諸国[2]	116.3	24 %	16 %
欧州	118.6	31 %	21 %
その他[2]	27.9	(3)%	(3)%
タペストリーのプロフォーマ収益情報	**1,920.6**	**25%**	**23%**

[1] プロフォーマ財務情報の売上高及び関連する増減率には、スチュアート・ワイツマン事業の報告書ベース及び恒常通貨ベースの売上高は含まれません。財務諸表2をご覧ください。
[2] 各地域に含まれる国については下記の「タペストリー・インクについて」をご覧ください。

タペストリー・インク2026年度第3四半期の戦略に関する主なハイライト

タペストリー・インクは、盤石な成長を下支えする以下の4本の柱に焦点をあてた**Amplify成長戦略**を進展させました。

- **消費者とのエモーショナルなつながりを構築**
- **ファッションの革新性と製品の卓越性を向上**

- **魅力的なエクスペリエンスを提供しグローバルな成長を推進**
- **私たちの人材の力を最大化**

この戦略はタペストリー・インクの現在の業績を加速させるとともに、将来に向けて引き続き競争優位性を拡大していきます。

2026年度第3四半期のハイライトは以下の通りです。

- **グローバルで240万人を超える新規顧客を獲得**しました。牽引したのはその35%超を占めるZ世代の消費者で、前年を上回る増加を示しています。また既存顧客からの需要も拡大し、幅広い支持と、巨大なTAM（獲得可能な最大市場規模）において常に新世代の消費者を惹きつけ維持していけることを実証しています。
- **主力のレザー製品の成長が加速しました。これはコーチのハンドバッグの増収によるもので、ハンドバッグの販売数が20%以上、平均小売単価が10%台前半の増加となりました。**これは、健全かつ多角的な成長の原動力に加え、大規模な消費者に提供されるクラフトマンシップと価値を反映したものであり、この事業の根本的な強みです。
- **主要マーケットで予想を上回る2桁台の成長を加速。**北米（20%増）、ヨーロッパ（21%増）、中国全体（55%増）を含むAPAC全体（30%増）がプロフォーマ財務情報の恒常通貨ベースで増収となりました。また、**コーチは恒常通貨ベースで29%の成長**を果たしました。
- **D2C全体**は、デジタルの約25%増の堅調な伸びと世界中の実店舗の20%以上の成長に牽引されて全チャネルで収益力を向上させ、**プロフォーマ財務情報の恒常通貨ベースで23%増収**となりました。これはタペストリーのデータドリブンでアジャイルなビジネスモデルの実力を示すものです。

全体として、タペストリー・インクは当四半期中、2桁の増収増益を達成し、構造的な優位性及び持続的な成長と価値創造の原動力を実証しました。

<u>株主還元プログラム</u>

好調な業績、堅調なバランスシート、潤沢なフリーキャッシュフロー創出、今後の成長見通しを踏まえ、タペストリー・インクは現在、予想される調整後フリーキャッシュフローの約100%に相当する16億ドルを以下に示すように配当金の支払いと自社株買戻しプログラムによって2026年度中に株主還元する予定です。これは前回見通しの15億ドルから上昇しています。

- **配当金の支払い**：タペストリー・インクの取締役会は2026年6月5日の営業終了時点の株主名簿記載の株主に対し、2026年6月22日に1株当たり0.40ドルの四半期現金配当を行うと宣言しました。その結果、2026年度の1株当たり年間配当金は見込み通り1.60ドルとなります。

- **自社株買戻しプログラム**：タペストリー・インクは前回見通しの12億ドルから引き上げ、既存の自己株式取得枠に基づいて2026年度中に約13億ドルの普通株式の買い戻しを実施する予定です。2026年度第3四半期中、タペストリー・インクは1億5,000万ドルを支出し、1株当たりの平均取得単価約143ドルで約105万株の普通株式を買い戻しました。第3四半期までの累計ベースでは、10億5,000万ドルを支出し、1株当たりの平均取得単価約112ドルで約930万株の普通株式を買い戻しました。

非GAAPの調整

2026年度第3四半期中、タペストリー・インクは営業利益を300万ドル、純利益を200万ドル、希薄化後1株当たり利益を0.01ドルそれぞれ減少させた特定の項目を計上しました。

なおスチュアート・ワイツマン ブランドの売却は2025年8月4日に完了しており、2026年度の所有期間における当該ブランドの業績は、GAAPベースでは2026年度第1四半期及び年初来の業績に含まれていますが、非GAAPベースでは年初来の業績から除外されています。

GAAPから非GAAPへの調整の詳細については、本プレスリリースの財務諸表をご覧ください。

2026 年度第 3 四半期の業績

- **純売上高**：合計19億2,000万ドル、名目ベースで前年同期比21%増、恒常通貨ベースで前年同期比19%増となりました。スチュアート・ワイツマン ブランドの影響を除くと、プロフォーマ財務情報における成長率は名目ベースで25%増、恒常通貨ベースで23%増でした。当四半期中、報告書ベースで220ベーシスポイント、プロフォーマベースで230ベーシスポイントの為替差益が反映されています。
- **売上総利益**：合計14億8,000万ドル、売上総利益率は76.9%となりました。なお前年同期の売上総利益は12億1,000万ドル、売上総利益率は76.1%でした。売上総利益率の80ベーシスポイント上昇は、業務改善による約190ベーシスポイントと、スチュアート・ワイツマン ブランドの売却による70ベーシスポイントの好影響が寄与していますが、関税及び諸税による180ベーシスポイントのマイナス影響によって一部相殺されています。
- **販管費**：GAAPベースで合計10億5,000万ドル、対売上比の販管費率は54.6%となりました。非GAAPベースでの販管費は合計10億5,000万ドル、対売上比の販管費率は54.5%となりました。なお前年同期の販管費はGAAPベースで合計9億5,200万ドル、対売上比の販管費率は60.1%、非GAAPベースで合計9億2,900万ドル、対売上比の販管費率は58.6%でした。当四半期中にマーケティング投資が160ベーシスポイント上昇したにもかかわらず、非GAAPベースの販管費は410ベーシスポイント改善しました。

- **営業利益**：GAAPベースで4億2,800万ドル、営業利益率は22.3%、非GAAPベースでは4億3,000万ドル、営業利益率は22.4%となりました。なお前年同期の営業利益はGAAPベースで2億5,400万ドル、営業利益率は16.0%、非GAAPベースで2億7,700万ドル、営業利益率は17.5%でした。非GAAPベースの営業利益率における490ベーシスポイント上昇にはスチュアート・ワイツマン ブランドの売却による80ベーシスポイントの好影響が含まれています。
- **支払利息の総額**：前年同期の1,500万ドルに対して1,300万ドルでした。
- **その他の収入**：前年同期の100万ドルに対して200万ドルでした。
- **純利益**：GAAPベースで3億4,400万ドル、希薄化後1株当たり利益は1.65ドル、非GAAPベースでは3億4,600万ドル、希薄化後1株当たり利益は1.66ドルとなりました。なお前年同期のGAAPベースの純利益は2億300万ドル、希薄化後1株当たり利益は0.95ドル、非GAAPベースの純利益は2億2,000万ドル、希薄化後1株当たり利益は1.03ドルでした。2026年度第3四半期の税率はGAAPベース及び非GAAPベースで17.4%でした。なお前年同期の税率はGAAPベースで14.9%、非GAAPベースで16.4%でした。

貸借対照表とキャッシュフローに関する主なハイライト

- **現金及び現金等価物、並びに短期投資**の合計は10億7,000万ドル、**借入金残高の合計**は23億8,000万ドル。調整後EBITDAに対する総負債に基づくレバレッジ比率は2026年度第3四半期末時点で1.1倍でした。
- 2026年度第3四半期末時点の**棚卸資産**は前年同期末の棚卸資産8億7,400万ドルに対して8億4,400万ドルとなりました。
- 2026年度第3四半期の**営業活動によるキャッシュフロー**は前年同期の1億4,400万ドルの流入に対して2億6,300万ドルの流入でした。年初来ベースでは前年同期の7億7,000万ドルの流入に対して14億6,000万ドルの流入でした。2026年度第3四半期の**調整後フリーキャッシュフロー**は前年同期の1億1,800万ドルの流入に対して2億2,900万ドルの流入でした。年初来ベースでは前年同期の約9億3,000万ドルの流入に対して13億7,000万ドルの流入でした。
- 2026年度第3四半期の**設備投資及びクラウド化に関連する導入費用**は前年同期の3,600万ドルに対して5,000万ドルでした。年初来ベースでは前年同期の1億500万ドルに対して1億4,300万ドルでした。

業績見通し

タペストリー・インクは、第3四半期の好調な業績及び第4四半期見通しの上方修正を受けて、非GAAPベースの2026年度通期業績見通しを以下の通り引き上げました。

- **収益**は79億5,000万ドル前後で、前年と比較して名目ベースで約14%、恒常通貨ベースで13%の成長を示しています。スチュアート・ワイツマン ブランドを除いたプロフォーマ収益は名目ベースで約

17%、恒常通貨ベースで16%の成長を見込んでいます。為替は当該年度の売上高に80ベーシスポイントのプラスの影響を及ぼす見込みです。これは前回ガイダンスで示した収益77億5,000万ドル超を上回ります。

- **営業利益率**は約 23%で、前年比約300ベーシスポイントの拡大を示しています。なお前回ガイダンスでは前年比約180ベーシスポイント増加の見込みでした。基盤となるビジネスが好調であることから、約120ベーシスポイントの関税及び諸税のマイナス分を上回って十分に相殺できると予想しており、その結果、2026年度は売上総利益率の拡大と販管費のレバレッジ向上の双方が見込まれます。
- **支払利息の総額**は前回ガイダンスの約6,500万ドルに対して約6,000万ドル。
- **税率**は前回ガイダンスの約17％に対して約17.5%。
- **希薄化後の加重平均株式数**は前回ガイダンスの約2億1,100万株に対して約2億1,000万株。
- **希薄化後 1 株当たり利益**は35%超の前年比成長率を反映して6.95ドル前後。前回ガイダンスの6.40ドルから6.45ドルの範囲から上昇しています。
- **調整後フリーキャッシュフロー**は前回ガイダンスの15億ドル前後を上回る16億ドル弱。

この見通しは以下を前提としていることにご留意ください。

- 2026年5月1日時点で施行されている米国の通商政策と、OECDのPillar2ガイダンスの影響を含む現行のグローバル税制を反映しています。
- 外貨換算レートは予測時点でのスポットレートによるものです。
- インフレ圧力や消費者心理の大幅な悪化がない想定です。
- 2025年8月4日に完了したスチュアート・ワイツマン ブランド売却に伴う一時的な費用、2026年度の所有期間における当該ブランドの業績は含みません。スチュアート・ワイツマン ブランドの除外が2026年度の営業利益及び希薄化後1株当たり利益に与える影響は軽微と見込んでいます。
- タペストリー・インクの組織効率化の取り組みに伴う非経常的費用を除きます。

これら及びその他の外的要因の動的な性質を鑑みると、業績が今回の見通しから大きく異なる可能性があります。

業績見通し：非 GAAP への調整

タペストリー・インクは、本プレスリリース及びカンファレンスコールにおいて提示された非GAAP財務指標をGAAPと完全に調整して提供することができません。これは指標に影響を与える特定の重要項目がまだ発生しておらず、現時点で合理的に見積もることができないためです。従って、タペストリー・インクの非GAAP財務指標のガイダンスのGAAP指標との調整は非論理的な手続きなく提示し得ません。

カンファレンスコールについて

タペストリー・インクは、本日 2026 年 5 月 7 日午前 8 時 00 分（米国東部標準時）に、今回発表の業績についてのカンファレンスコールを実施します。ご関心のある方は、インターネットにてライブのウェブキャスト www.tapestry.com/investors にアクセスされるか、カンファレンスコール（1-866-847-4217 または 1-203-518-9845 にダイアルし、カンファレンス ID 3533756 を入力してください）へお申し込みください。電話による再放送（1-800-283-4641 または 1-402-220-0851 にダイアル）は同日の米国東部標準時、正午より 5 営業日の間お聞きいただけます。ウェブキャストの再放送はタペストリー・インクのウェブサイト上で 5 営業日の間アクセスすることができます。業績説明資料も www.tapestry.com/investors でご覧いただけます。

今後の予定について

タペストリー・インクの 2026 年度第 4 四半期及び通期の業績発表は、2026 年 8 月 13 日（木）の予定です。

今後お知らせを受信されたい方は www.tapestry.com/investors（“Subscribe to E-Mail Alerts”）にご登録をお願いします。

タペストリー・インクについて

タペストリー・インクは、コーチとケイト・スペード ニューヨークの魅力を集結させた、アイコニックなアクセサリー＆ライフスタイル ブランドを展開するグローバル企業です。個々の象徴的ブランドがひとつになることで無限の可能性を追求し、ブランド単独では到達できない領域をさらに発展させて新たな地域や世代へとリーチを拡大します。お客様からインスピレーションを得て、ブランドへの永続的な愛着を育み、日々の生活を豊かにするエクスペリエンスと製品を創出しています。タペストリー・インクの詳細については http://www.tapestry.com（英語のみ）をご覧ください。タペストリー・インクに関する重要なニュースと情報については、Investor Relations のセクション www.tapestry.com/investors をご覧ください。さらに、投資家の皆様はタペストリー・インクのニュースリリース及び証券取引委員会への報告を引き続きご確認ください。タペストリー・インクは投資家の皆様への主要な情報の配信網としてこれらを活用しており、一部には重要情報や未公開情報が含まれている場合があります。タペストリー・インクの普通株式はニューヨーク証券取引所でティッカーシンボル TPR で取引されています。

当プレスリリースには将来の見通しが含まれていますが、実際の結果は事業に及ぼす様々なリスクや不確定な事由により現在の見通しと異なる可能性があります。タペストリー・インクは、法律で求められる場合を除き、いかなる理由でも当資料に含まれる将来の見通しに関する記述内容を修正または更新する義務を一切負いません。

経営陣は非 GAAP 及び恒常通貨の指標を使って事業を行い、該当期間に関する営業成績の定期報告の間に事業を評価し、会社のリソース及び業績に関する意思決定を行います。タペストリー・インクは、これらの期間比較ができない項目を除く非 GAAP 指標を提示することは、投資家及びその他の人々が会社の継続的な営業成績や財務結果を経営陣の業績評価と一致する方法で評価し、それらの結果を会社の過去の業績と比較して理解する上で役立つものと確信しています。さらにタペストリー・インクはこれら指

標を恒常通貨ベースで表示することは、前年比の為替レートの変動がこれら業績指標に与える重大な影響について投資家及びアナリストの理解を助け、これらの影響を除外した場合の業績及び業績見込みを評価する枠組みを提供するものと確信しています。

タペストリー・インクは米国会計基準(GAAP)に従って情報を報告しています。経営陣が、非 GAAP 財務指標を、GAAP に基づいて作成された財務情報から切り離して単独で評価したり、その代用とすることは無く、投資家にそれを推奨するものでもありません。また、タペストリー・インクが用いた非 GAAP 指標はタペストリー・インク特有のものである場合があり、他社が用いる非 GAAP 指標とは異なる場合があります。

タペストリー・インクはグローバルに事業展開しており、財務業績は GAAP に基づいて米ドル建で報告しています。タペストリー・インク及び各セグメントの純売上の増減率は、外貨建て売上の米ドル換算による為替変動の影響を算入・除外し、前四半期及び前年同期と比較して表示しています。タペストリー・インクは、前期の月平均の換算レートを使用して当期の純売上を現地通貨に換算することで恒常通貨ベースでの純売上を算出しています。2025 年 8 月 4 日に完了したスチュアート・ワイツマン ブランド売却により、タペストリー・インクは当四半期及び前年同期の両期間のスチュアート・ワイツマン ブランドの売上高を除外したプロフォーマ財務情報の売上高及び関連する増減率を提示しています。プロフォーマ収益情報の概要では、中国全体に中国本土、台湾、香港特別行政区、マカオ特別行政区が含まれます。その他アジア諸国にはマレーシア、オーストラリア、韓国、シンガポール、主にアジアに位置するその他の国が含まれます。その他は主にライセンシングパートナーからのロイヤリティー収入と中東の売上を示しています。

タペストリー・インクは、セグメントの営業利益(損失)、セグメントの販売管理費、販管費率、営業利益率、営業利益(損失)、負債の消滅による損失、支払利息、その他の支出(収入)、法人税等、純利益(損失)、希薄化後 1 株当たり純利益(損失)を含む一部の非 GAAP 指標を示していますが、該当する場合は、買収及び売却費用や組織効率化費用など比較可能性に影響を与える項目を除外しています 最も直接的に比較可能な GAAP 指標との調整は本リリースに提示している表に記載しています。

タペストリー・インクは、非 GAAP の指標である調整後フリーキャッシュフローも提示しており、営業活動によって得られた(使用された)正味キャッシュフローから固定資産の取得額を差し引き、比較可能性に影響を与える項目である買収及び売却費用と組織効率化費用のうち、現金支出に該当し販売管理費として計上される費用と、比較可能性に影響を与える項目の営業資産及び負債の増減を加えて算出しています。タペストリー・インクは、調整後フリーキャッシュフローが、営業支出、事業への投資及び比較可能性に影響を及ぼす項目に対する資本支出後に利用可能なキャッシュを示す重要な流動性の指標だと考えています。また調整後フリーキャッシュフローはタペストリー・インクのキャッシュの創出力や支払能力を評価するために投資家にも有用であると考えています。タペストリー・インクの事業上の資金需要や債務が充足されれば、キャッシュは強固な財務基盤の維持、将来的な成長に向けた投資、株主への資本還元に使用できます。

タペストリー・インクは非 GAAP の指標であるレベレッジ比率も提示しており、1 年内返済予定長期借入金と長期借入金を含む負債の合計である負債総額を過去 12 か月間の調整後 EBITDA で割って算出しています。調整後 EBITDA は、支払利息の総額、法人税等、減価償却費、クラウドコンピューティングの償却、株式報酬費用、買収及び売却費用、組織効率化費用、減損を含む比較可能性に影響を与える項目を除いた純利益(損失)です。タペストリー・インクは、レベレッジ比率は当社の盤石な財務基盤及び信用度を評価する重要な指標であり、投資適格格付けへのコミットメントを示す指標だと考えています。

###

財務諸表 1:連結損益計算書

タペストリー・インク
連結損益計算書
2026年3月28日及び2025年3月29日終了の四半期と9か月
（単位：百万ドル、ただし1株当たり純利益を除く）

	（未監査）下記期日に終了の四半期		（未監査）下記期日に終了の9か月	
	2026年3月28日	2025年3月29日	2026年3月28日	2025年3月29日
売上高	$ 1,920.6	$ 1,584.6	$ 6,127.6	$ 5,287.5
売上原価	444.1	378.8	1,462.2	1,313.7
売上総利益	1,476.5	1,205.8	4,665.4	3,973.8
販売管理費	1,049.0	952.1	3,193.3	2,975.3
営業利益（損失）	427.5	253.7	1,472.1	998.5
負債の消滅による損失	—	—	—	120.1
支払利息	13.1	15.4	43.3	70.6
その他の支出（収入）	(1.6)	(0.8)	(3.0)	(2.3)
税引前利益（損失）	416.0	239.1	1,431.8	810.1
法人税等（便益）	72.2	35.8	251.9	109.8
純利益（損失）	$ 343.8	$ 203.3	$ 1,179.9	$ 700.3
1株当たり純利益（損失）				
基本	$ 1.70	$ 0.98	$ 5.76	$ 3.19
希薄化後	$ 1.65	$ 0.95	$ 5.58	$ 3.12
1株当たり純利益（損失）の算出で使用した株式数				
基本	202.5	207.3	204.9	219.5
希薄化後	208.3	213.9	211.3	224.8

財務諸表 2:売上高内訳

タペストリー・インク
売上高内訳
2026年3月28日及び2025年3月29日終了の四半期と9か月
（単位：百万ドル）
（未監査）

	下記期日に終了の四半期			
	2026年3月28日	2025年3月29日	増減率	恒常通貨ベースの増減率
コーチ	$ 1,701.0	$ 1,293.5	31 %	29 %
ケイト・スペード	219.6	244.9	(10)%	(11)%
スチュアート・ワイツマン	—	46.2	NM	NM
タペストリー合計	**$ 1,920.6**	**$ 1,584.6**	21 %	19 %
タペストリー合計のプロフォーマ財務情報[1]	**$ 1,920.6**	**$ 1,538.4**	25 %	23 %

	下記期日に終了の9か月			
	2026年3月28日	2025年3月29日	増減率	恒常通貨ベースの増減率
コーチ	$ 5,273.2	$ 4,173.4	26 %	25 %
ケイト・スペード	839.8	944.5	(11)%	(12)%
スチュアート・ワイツマン	14.6	169.6	(91)%	(91)%
タペストリー合計	**$ 6,127.6**	**$ 5,287.5**	16 %	15 %
タペストリー合計のプロフォーマ財務情報[1]	**$ 6,113.0**	**$ 5,117.9**	19 %	19 %

[1] プロフォーマ財務情報の売上高及び関連する増減率には、スチュアート・ワイツマン事業の報告書ベース及び恒常通貨ベースの売上高は含まれません。

財務諸表 3 及び 4：連結セグメントデータ及び GAAP から非 GAAP への調整

タペストリー・インク
GAAPから非GAAPへの調整
（単位：百万ドル、ただし1株当たりの数値を除く）
（未監査）

	2026年3月28日終了の四半期 比較可能性に影響を与える項目				2026年3月28日終了の9か月 比較可能性に影響を与える項目			
	GAAPベース（報告書）	買収及び売却費用*	組織効率化費用**	非GAAPベース（特殊要因除外後）	GAAPベース（報告書）	買収及び売却費用*	組織効率化費用**	非GAAPベース（特殊要因除外後）
売上総利益								
コーチ	1,339.0	—	—	1,339.0	4,134.0	—	—	4,134.0
ケイト・スペード	137.5	—	—	137.5	523.7	—	—	523.7
スチュアート・ワイツマン[1]	—	—	—	—	7.7	7.7	—	—
売上総利益	$ 1,476.5	$ —	$ —	$ 1,476.5	$ 4,665.4	$ 7.7	$ —	$ 4,657.7
販売管理費								
コーチ	743.8	—	0.1	743.7	2,204.9	—	1.3	2,203.6
ケイト・スペード	158.2	—	—	158.2	522.5	—	0.5	522.0
スチュアート・ワイツマン	—	—	—	—	8.7	8.7	—	—
会社	147.0	(3.0)	5.5	144.5	457.2	9.9	19.0	428.3
販売管理費	$ 1,049.0	$ (3.0)	$ 5.6	$ 1,046.4	$ 3,193.3	$ 18.6	$ 20.8	$ 3,153.9
営業利益（損失）								
コーチ	595.2	—	(0.1)	595.3	1,929.1	—	(1.3)	1,930.4
ケイト・スペード	(20.7)	—	—	(20.7)	1.2	—	(0.5)	1.7
スチュアート・ワイツマン	—	—	—	—	(1.0)	(1.0)	—	—
会社	(147.0)	3.0	(5.5)	(144.5)	(457.2)	(9.9)	(19.0)	(428.3)
営業利益（損失）	$ 427.5	$ 3.0	$ (5.6)	$ 430.1	$ 1,472.1	$ (10.9)	$ (20.8)	$ 1,503.8
支払利息	13.1	—	—	13.1	43.3	(0.1)	—	43.4
その他の支出（収入）	(1.6)	—	—	(1.6)	(3.0)	0.1	—	(3.1)
法人税等	72.2	0.5	(0.9)	72.6	251.9	(0.8)	(3.0)	255.7
純利益（損失）	$ 343.8	$ 2.5	$ (4.7)	$ 346.0	$ 1,179.9	$ (10.1)	$ (17.8)	$ 1,207.8
希薄化後1株当たり純利益（損失）	$ 1.65	$ 0.01	$ (0.02)	$ 1.66	$ 5.58	$ (0.05)	$ (0.09)	$ 5.72

[1] 2026年度の9か月における2025年8月4日の売却完了前のスチュアート・ワイツマン事業の売上高は1,460万ドル、売上原価は690万ドルでした。
* スチュアート・ワイツマン事業売却に伴いタペストリー・インクが負担した費用
** 主にテクノロジー費用や退職費用に関連する組織効率化費用

タペストリー・インク
GAAPから非GAAPへの調整
（単位：百万ドル、ただし1株当たりの数値を除く）
（未監査）

	2025年3月29日終了の四半期 比較可能性に影響を与える項目				2025年3月29日終了の9か月 比較可能性に影響を与える項目			
	GAAPベース（報告書）	買収及び売却費用*	組織効率化費用**	非GAAPベース（特殊要因除外後）	GAAPベース（報告書）	買収及び売却費用*	組織効率化費用**	非GAAPベース（特殊要因除外後）
売上総利益								
コーチ	1,018.5	—	—	1,018.5	3,252.9	—	—	3,252.9
ケイト・スペード	163.2	—	—	163.2	626.4	—	—	626.4
スチュアート・ワイツマン	24.1	—	—	24.1	94.5	—	—	94.5
売上総利益	$ 1,205.8	$ —	$ —	$ 1,205.8	$ 3,973.8	$ —	$ —	$ 3,973.8
販売管理費								
コーチ	598.4	—	—	598.4	1,825.3	—	—	1,825.3
ケイト・スペード	163.2	—	2.8	160.4	531.4	—	2.8	528.6
スチュアート・ワイツマン	29.7	0.6	—	29.1	108.5	0.6	—	107.9
会社	160.8	18.0	2.2	140.6	510.1	106.8	2.2	401.1
販売管理費	$ 952.1	$ 18.6	$ 5.0	$ 928.5	$ 2,975.3	$ 107.4	$ 5.0	$ 2,862.9
営業利益（損失）								
コーチ	420.1	—	—	420.1	1,427.6	—	—	1,427.6
ケイト・スペード	—	—	(2.8)	2.8	95.0	—	(2.8)	97.8
スチュアート・ワイツマン	(5.6)	(0.6)	—	(5.0)	(14.0)	(0.6)	—	(13.4)
会社	(160.8)	(18.0)	(2.2)	(140.6)	(510.1)	(106.8)	(2.2)	(401.1)
営業利益（損失）	$ 253.7	$ (18.6)	$ (5.0)	$ 277.3	$ 998.5	$ (107.4)	$ (5.0)	$ 1,110.9
負債の消滅による損失	—	—	—	—	120.1	119.4	—	0.7
支払利息	15.4	—	—	15.4	70.6	60.2	—	10.4
法人税等	35.8	(5.7)	(1.4)	42.9	109.8	(79.3)	(1.4)	190.5
純利益（損失）	$ 203.3	$ (12.9)	$ (3.6)	$ 219.8	$ 700.3	$ (207.7)	$ (3.6)	$ 911.6
希薄化後1株当たり純利益（損失）	$ 0.95	$ (0.06)	$ (0.02)	$ 1.03	$ 3.12	$ (0.91)	$ (0.02)	$ 4.05

* 先に中止したカプリ・ホールディングス・リミテッド買収計画及びスチュアート・ワイツマン事業売却に伴いタペストリー・インクが負担した費用
** 主にテクノロジー費用や退職費用に関連する組織効率化費用

財務諸表５：連結（要約）貸借対照表

タペストリー・インク
連結（要約）貸借対照表
2026年3月28日及び2025年6月28日現在
（単位：百万ドル）

	（未監査）	（監査済）
	2026年3月28日	**2025年6月28日**
資産		
現金及び現金等価物、並びに短期投資	$ 1,068.6	$ 1,119.6
売掛金	305.0	239.3
棚卸資産	843.9	860.7
その他流動資産	499.8	509.6
売却目的で保有する資産	—	176.4
流動資産合計	2,717.3	2,905.6
有形固定資産（減価償却後）	492.7	489.5
オペレーティングリース使用権資産	1,384.8	1,331.0
その他固定資産	1,871.9	1,854.4
資産合計	$ 6,466.7	$ 6,580.5
負債及び資本		
買掛金	$ 499.7	$ 456.1
未払債務	666.0	736.9
短期オペレーティングリース負債	310.3	299.0
1年内返済予定長期借入金	—	16.7
売却目的で保有する負債	—	48.2
流動負債合計	1,476.0	1,556.9
長期借入金	2,377.1	2,377.9
長期オペレーティングリース負債	1,235.8	1,205.6
その他負債	695.4	582.3
株主資本	682.4	857.8
負債及び資本合計	$ 6,466.7	$ 6,580.5

財務諸表 6：連結（要約）キャッシュフロー計算書

タペストリー・インク
連結（要約）キャッシュフロー計算書
2026年3月28日及び2025年3月29日終了の9か月
（単位：百万ドル）

	（未監査） 2026年3月28日	（未監査） 2025年3月29日
営業活動によるキャッシュフロー		
当期純利益（損失）	$ 1,179.9	$ 700.3
当期純利益から営業活動によるキャッシュフローへの調整		
減価償却費	115.6	119.8
負債の消滅による損失	—	120.1
クラウドコンピューティング契約の償却	43.0	43.6
その他の非現金項目	160.0	48.6
営業資産及び負債の変動額	(42.2)	(262.6)
営業活動から生じた（に使用した）現金	1,456.3	769.8
投資活動によるキャッシュフロー		
固定資産の取得	(112.8)	(87.4)
有価証券の取得	(9.3)	(1,886.1)
事業売却による収入：譲渡した現金を除く総額	109.1	—
その他	2.6	2,921.7
投資活動から生じた（に使用した）現金	(10.4)	948.2
財務活動によるキャッシュフロー		
配当金の支払	(245.6)	(226.5)
自己株式の取得	(1,251.9)	(1,665.3)
未決済の自社株買い	—	(350.0)
社債の発行による収入（割引後）	—	2,248.1
負債消滅費用の支出	—	(63.5)
債務の返済	—	(6,859.9)
その他	12.2	108.7
財務活動から生じた（に使用した）現金	(1,485.3)	(6,808.4)
為替相場変動の現金及び現金等価物に対する影響	(14.1)	15.4
売却目的で保有する資産に分類される現金を含む現金及び現金等価物の純増（純減）	(53.5)	(5,075.0)
減算：売却目的で保有する流動資産に分類される現金の純増（純減）	—	(29.3)
現金及び現金等価物の純増（純減）	(53.5)	(5,104.3)
現金及び現金等価物の期首残高	$ 1,100.0	$ 6,142.0
現金及び現金等価物の期末残高	$ 1,046.5	$ 1,037.7

財務諸表 7：調整後フリーキャッシュフロー GAAP から非 GAAP への調整

タペストリー・インク
調整後フリーキャッシュフロー
GAAPから非GAAPへの調整
2026年3月28日及び2025年3月29日終了の四半期と9か月
（単位：百万ドル）
（未監査）

	下記期日に終了の四半期		下記期日に終了の9か月	
	2026年3月28日	2025年3月29日	2026年3月28日	2025年3月29日
営業活動による正味キャッシュフロー（GAAP）	$ 262.6	$ 144.3	$ 1,456.3	$ 769.8
固定資産の取得	(36.8)	(30.9)	(112.8)	(87.4)
比較可能性に影響を与える項目：買収費用	(0.8)	2.3	12.8	151.3
比較可能性に影響を与える項目：組織効率化費用	3.0	4.3	12.9	4.3
比較可能性に影響を与える項目の営業資産及び負債の変動				
未払負債	0.5	(1.7)	1.9	97.6
その他の固定資産	—	—	—	(11.9)
買掛金	—	(0.7)	—	6.4
調整後フリーキャッシュフロー（非GAAP）	$ 228.5	$ 117.6	$ 1,371.1	$ 930.1

調整後フリーキャッシュフローは、営業活動によって得られた（使用された）正味キャッシュフローから固定資産の取得額を差し引き、比較可能性に影響を与える項目である買収及び売却費用と組織効率化費用のうち、現金支出に該当し販売管理費として計上される費用と、比較可能性に影響を与える項目の営業資産及び負債の増減を加えて算出しています。

財務諸表 8：調整後 EBITDA 及びレバレッジ比率 GAAP から非 GAAP への調整

タペストリー・インク
2026年3月28日終了の過去12か月（TTM）の調整後EBITDA及び2026年3月28日現在のレバレッジ比率
GAAPから非GAAPへの調整
（単位：百万ドル）
（未監査）

	下記期日に終了の四半期				TTM
	2025年6月28日	2025年9月27日	2025年12月27日	2026年3月28日	2026年3月28日
純利益（損失）：（GAAP）	$ (517.1)	$ 274.8	$ 561.3	$ 343.8	$ 662.8
以下、調整項目					
支払利息	14.8	12.8	17.4	13.1	58.1
法人税等	(76.9)	43.9	135.8	72.2	175.0
減価償却費	43.1	37.2	39.0	39.4	158.7
クラウドコンピューティングの償却	18.4	14.4	14.1	14.5	61.4
株式報酬費用	22.2	22.4	29.0	27.6	101.2
比較可能性に影響を与える項目：買収及び売却費用	5.1	14.7	(0.8)	(3.0)	16.0
比較可能性に影響を与える項目：組織効率化費用	12.2	11.0	4.2	5.6	33.0
比較可能性に影響を与える項目：減損費用	854.8	—	—	—	854.8
調整後EBITDA（非GAAP）*	$ 376.6	$ 431.2	$ 800.0	$ 513.2	$ 2,121.0
2026年3月28日現在の負債総額 **					$ 2,377.1
2026年3月28日現在のレバレッジ比率 ***					1.1

* 調整後EBITDAは、支払利息の総額、法人税等、減価償却費、クラウドコンピューティングの償却、株式報酬費用、比較可能性に影響を与える項目の買収及び売却費用、組織効率化費用、減損費用を除いた純利益（損失）です。
** 負債総額には2026年3月28日現在の1年内返済予定長期借入金と長期借入金が含まれます。
*** レバレッジ比率は、2026年3月28日現在の負債総額を2026年3月28日までの過去12か月間の調整後EBITDAで割って算出しています。

財務諸表 9：ブランド毎の店舗数

タペストリー・インク
店舗数
2025年12月27日及び2026年3月28日現在
（未監査）

直営店舗数：	2025年 12月27日現在	出店数	（閉店数）	2026年 3月28日現在
コーチ				
北米	330	4	(4)	330
海外	619	8	(2)	625
ケイト・スペード				
北米	188	—	(8)	180
海外	165	—	(10)	155

タペストリー・インク
店舗数
2025年6月28日及び2026年3月28日現在
（未監査）

直営店舗数：	2025年 6月28日現在	出店数	（閉店数）	2026年 3月28日現在
コーチ				
北米	324	12	(6)	330
海外	607	31	(13)	625
ケイト・スペード				
北米	189	—	(9)	180
海外	171	5	(21)	155

###